

「保険でよい歯を」 東京連絡会第17回定期総会・ご報告

2009年12月12日(土) PM3:00~5:00 東京歯科保険医協会会議室

歯科医療を守る国民運動推進本部 代表 脇本征男

上記総会に出席の機会をいただいたのでご報告致します。「保険でよい歯を」東京連絡会では、患者や、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などが参加し、「保険でよい入れ歯は国民の権利」「歯科医療従事者の技術と労働の適正評価、経営と生活の確保」という位置づけのもと、ともに満足できる入れ歯が健康保険で保障できるよう活動している。年間の活動を通して、シンポジウムの開催や出前講座等、患者を対象に宣伝活動の報告。歯科保険医療の充実を求める署名運動では36,000筆以上を集めた。10月25日、東京国際交流館で開かれた「“入れ歯が危ない”保険で良い歯科医療を10・25決起集会」、恒例の「イイハデー」宣伝行動を11月8日、浅草文化観光センター前で行った報告が成された。世話人会の充実と役割の強化が採択された。次に2010年の活動方針と活動計画を提案し、全会一致で可決された。最後に、総会アピールを採択し、総会は終了した。(参加会員33名)

記念講演

「歯科医療から医療の立て直し」

【講師】 はつ しか あき ひろ
初 鹿 明 博

民主党 衆議院議員 (東京16区初選出)
厚生労働委員、青少年問題に関する特別委員

[特筆すべき要点] この度の総選挙で民主党に政権が託されたことは、医療従事者の皆さんが、今までの自公政治で、どれ程日常のお仕事や生活における矛盾、苦行、我慢の限界に置かれてきたことか、その「はじけ」の象徴であり、期待の表れであったと思います。

もし、ここで民主党が医療従事者と約束したことを、大半を反古にするなんてことがあったら、政党の政策そのものが虚偽となり、責任逃れの誹りは免れない。その意気込みと信念で当たって参ります。今まで都議会ではあまり情報が得られなかった。

歯科医師のみならず、歯科衛生士、歯科技工士の歯科医療従事者の生き甲斐を醸成できる政策を遂行する。それがないと本当に歯科医療は崩壊する。歯科技工の海外委託問題は、民主党歯科議連を挙げて緊急対処する。

○歯科医療従事者の経済救済 ○在宅歯科医療の推進 ○障害者歯科診療の充実

【ご来賓】 小池 晃 先生 談 参議院議員

海外委託の件はとんでもないことだと思う。わが国の法律はそんな生やさしいものではないはずだ。訴訟提起している方々に敬意を払い、解決に積極的に協力したい。

◇コメント◇

初鹿先生、小池先生はこの会の顧問として喜んでお受け頂いておりました。以上、友好的雰囲気の中お邪魔して温かい励ましを受け、お二人に上申書をお渡しいたしました。